

# 民主島根

2022年  
**3.27**  
第1403号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444  
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

## 市民要求を実現させよう 島根原発稼働は許されない

### にひ比例予候補、福住選挙区予候補、地方議員が政府交渉

日本共産党島根県委員会は17日、国に対し、島根原発問題や江の川治水対策、農業対策を要請しました。にひそうへい参院比例予候補、福住ひでゆき同鳥取・島根選挙区予候補が上京し、尾村利成、大田陽介の両県議、松江、出雲、江津の各市議団と安来市議がオンラインで現状などを伝えました。

島根原発2号機の再稼働について、尾村県議は「島根地域全体の避難計画である緊急時対応は、コロナ第6波を踏まえた計画とはなっておらず、実効ある計画とは言えない」と指摘。「この8年間で、県内で1200床もの病床削減が行われており、第6波を越す感染症が発生し、自然災害も重なればベッド数も医療従

事者も大幅に不足する。リスク軽減の上からも原発稼働など許されない」と訴えました。

### 農林漁業は「島の宝」

#### 小松氏が講演、にひ氏が参加

江の川の治水対策について、多田伸治・江津市議は「対策が進まず、50年間待たされている。

隠岐の島町の日本共産党おき支部は13日、「農林漁業は島の宝」第1次産業の多面的機能を見直し「そう」をテーマに、小松泰信・岡山大学名誉教授を迎えて講演会を開きました。JA幹部や元校長ら約20人が参加。にひそうへい参院比例予候補が駆けつけました。隠岐諸島の全4町村を数日かけて訪ねた小松氏は、農林漁業に伴う水源

早く安心して暮らせるようしっかりと予算措置を」と要望。水田活用直接支払交付金の見直しについて、大田県議は「今回の見直しは現場の実態に全く合っていない。方針転換すべき」と訴えました。

涵養や土砂災害防止、良好な景観、環境監視など多くの機能を挙げ、「これだけの役割を果たしている産業は宝そのものだ」と力説しました。また、党綱領に触れ、「僕はこれを読んでますます納得して入党した」と紹介。食料自給率の向上など農林水産政策の根本的な転換などが明記されているとし、「こんな政党は他にない」と述べました。



国会と結んでオンライン（Zoom）で政府交渉する参加者



講演する小松泰信・岡山大学名誉教授（隠岐の島町）

## 日本共産党演説会

4月10日（日） 14:30～  
松江テルサホール

弁士  
党書記局長（参院議員）

**小池 晃**



前参院議員（弁護士）

**にひ そうへい**



党鳥取・島根国政対策委員長 **福住ひでゆき**

コロナ対策を実施して開催しますのでぜひご参加ください。  
主催：日本共産党島根県委員会



にひ氏は「第1次産業の多面的機能を無視して地域をつぶしていく政治を許さず、諦めない」と語り、参院選で国会に戻る決意を表明しました。コメ農家の男性（40）「た」と話していました。

### 参院選での党躍進必ず

#### 第88回島根県党会議開く

日本共産党島根県委員会は19日、大田市で第88回県党会議を開きました。

議席奪還をめざす、にひそうへい前参院議員・参院比例予候補が電話で訴え、「みなさんと一緒

に前進を切り開き、今度こそ比例と選挙区で勝利を勝ち取る」と呼びかけました。福住ひでゆき参院鳥取・島根選挙区予候補が駆けつけ、決意表明しました。（写真）

にひ前参院議員を含む比例5議席を必ず獲得し、参院鳥取・島根選挙区での勝利で党創立100周年を迎えることをめざす「総合計画」を採択しました。新役員体制は次の通りです。（敬称略）

- ▽委員長 上代善雄（67）
- ▽副委員長 尾村利成（59）
- ▽再、大田陽介（42）
- ▽新

### 鼓動

100人に政治家夫妻が2871万円を配って回った前代未聞の選挙買収事件。河井克行元法相夫妻による大規模買収事件で、検察当局は14日、現金を受領しながらも不起訴処分となり、東京第6検察審査会から「起訴相当」と議決された広島県内の地方議員ら35人のうち、体調不良の1人を除く34人を公選法違反（被買収）の罪で起訴した▼事件では、現金を配って公選法違反（買収）の罪で有罪が確定した河井元法相（59）、案里元参院議員（48）夫妻と、受領側の県議12人、広島市議12人が自民党県連に所属。14日に略式起訴された県議と市議計14人は前後して議員辞職し、同日に在宅起訴された6人のうち県議1人は15日に離党、4人は不起訴となっている（20日時点）▼「政治とカネ」問題は後を絶たない。新潟県では、昨秋の衆院選で現職の自民党衆院議員が同党県議から裏金を要求されたことと県警に告発。京都府では自民党府連が国政選挙前に候補者から集めた金を組織的に地方議員に配った疑惑が発覚し、京都地検に告発状が提出された▼河井夫妻がばらまいた3千万円近くの現金の出どころは今も謎のまま。「なぜ、この事件は起きたのか。本当の『巨悪』は誰なのか」――広島の地元紙・中国新聞社が総力を挙げて取材したノンフィクション小説「ばらまき」では、当時の安倍政権中枢から提供された別の裏金が原資だった疑いがあると述べている▼自民党の根深い金権体質、時代の要請に合っていない現行の法制度。いずれの疑惑解明をはじめ、法制度が見直されない限り、政治不信は拭えない。（遠）